

ようはいりよしゃ 要配慮者のための『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！



記入例

大田区

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでのそなえを、いつから行動するか、書いてみよう！

みんなが考えた「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでのそなえが『マイ・タイムライン』だよ！



大田区 蒲田 地区 大森 家 マイ・タイムライン 作成年月日 ○年×月△日

そなえまでのおおよその時間

5~3日前

2日前

1日前

半日前

5時間前

3時間前

0時間

行政から発信される情報
黒：気象・水象情報
青：河川水位情報
緑：大田区

○台風予報

○台風に関する今後の見通し

◇大雨注意報・洪水注意報

水防団待機水位到達

◇大雨警報・洪水警報 (警戒レベル3相当)

氾濫注意水位到達

氾濫注意情報 発表 (上流域での大雨特別警報)

◇暴風警報

水位観測所名
田園調布(上)

避難判断水位到達 7.6 m

氾濫警戒情報 発表

★水害時緊急避難場所等 開設

氾濫危険水位到達 8.4 m

氾濫危険情報 発表

氾濫が発生

氾濫発生情報 発表

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまで

台風が発生



台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる



雨が集まって、川の水がだんだん増える



激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が流れる



川の水がいっぱいであふれそう！



川の水が氾濫



自分や家族のタイムライン



資料2で考えた順番で、シールを貼ってみよう！
自分や家族でできる、オリジナルの行動も書き足そう！

工. 今後の台風を調べ始める
台風の進み方を確認

- 家族の今後の予定を確認
- マイ・タイムラインとハザードマップを再確認
- 複数の避難先を再確認
- 支援者に連絡先の確認と買い出しの依頼
- 隣町の叔父に避難の可能性について連絡

ウ. 避難する時に持っていくものを準備する

- リュックサックに持ち出し品を収納
- 緊急連絡カード、ヘルプカードの確認
- 支援者の方と今後の対応について確認

カ. 住んでいる所と上流の雨量を調べ始める

- ハザードマップを再チェック！
- 携帯電話を充電する
- 支援者の方と必需品を確認
- 隣町の叔父に避難予定先を連絡
- 気象情報を確認
- 区の情報を確認

オ. 川の水位を調べ始める

- 避難について支援者の方と連絡
- 戸締まりなど家の状況を確認

イ. 避難しやすい服装に着替える

- 電気、ガスの確認
- 隣家に避難の声掛け

警戒レベル3 高齢者等避難

携帯メール等で避難情報の受信

ア. 安全な所へ移動を始める

町会長へ避難することを連絡

避難完了

隣町の叔父へ避難完了を連絡

警戒レベル4 避難指示

携帯メール等で緊急速報メールを受信

警戒レベル5 緊急安全確保

サポート・タイムライン

支援してほしいことをメモしたり、避難をサポートしてくれる人に、必要な準備や行動を書いてもらおう！

支援者間(家族・地域の方・事業所等)で対応に関する相談

大森さん(支援予定者)との連絡手段の再確認
大森さんの必需品の買い出し、準備

支援者間の協力体制や避難予定先の受入れ確認 (かかりつけ医等も含む)

大森さんへ 台風の際の対応の確認連絡 (希望の避難先や避難手段を聞きとる)

(警戒レベル3になったら 避難開始の呼びかけをする)

避難予定先の受け入れ 準備等の確認

大森さんの必需品を再確認し、不足があれば再度買い出し準備

避難予定先への連絡

大森さんへ避難準備の連絡

支援者間で集合して大森さん宅を訪問

支援者間で協力して、
(電気・ガスの再確認
購入した必需品のお渡し
避難先までのサポート
避難状況の確認連絡

雨風が強くなる前に行動すべき事項をすませておく時期

水位等の状況を把握しつつ避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

気象庁が発表する大雨注意報等の発表時間は、イメージで記載しています。
避難指示等のタイミングは市区町村によって異なります。市区町村のタイムラインを確認して下さい。